

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報				
・ 学籍番号	AF20083			
・ 氏名	石川裕貴			
・ 学部	電気電子情報工学部			
・ 学科(コース等)	情報通信工学科			
・ 学年(渡航開始時)				
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	☒ 氏名も掲載してよい ☒ 学部・学科まで掲載してよい ☐ 完全匿名での掲載を希望			

留学先情報				
・ 渡航型/オンライン型	☒ 渡航型 ☐ オンライン型			
・ プログラムタイプ	☒ 授業履修型 ☐ 研究室配属型			
・ 国・地域名	デンマーク			
・ 都市名	オーデンセ			
・ 留学先大学名	南デンマーク大学			
・ 留学期間	☐ 3ヶ月未満 ☐ 3ヶ月～半年（1セメスター程度） ☒ 半年～1年（2セメスター程度）			
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等)	2024年8月末	プログラム終了時期 (2021年9月上旬等)	2025年7月末
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェック をお願いします)	☐ 1年前期 ☐ 修士1年前期 ☐ 1年後期 ☒ 修士1年後期 ☐ 2年前期 ☐ 修士2年前期 ☐ 2年後期 ☐ 修士2年後期 ☐ 3年前期 ☐ 博士以上 ☐ 3年後期 ☐ 4年前期 ☐ 4年後期			
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	まずデンマークが統計上日本より安全で英語が流暢に話せる国であり、さらに留学先の大学は生徒の面倒見がとてもよいという評判を聞いていたため。またヨーロッパの国のため旅行がしやすく、様々な国を回って見聞を深められるだろうと考えたため。			
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)				

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	☒ 休学をした ☐ 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取 り終えており、かつ指導教員の許可 も得られ、就活前に帰国することが できたため、等)	

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

私はエンジニアリングの学部で申請したため自身の選考とは少し離れていたが(情報工学や数学に関する授業自体はサイエンスの学部の方が多い)、そのため芝浦ではとることができないような工学とビジネスなどを組み合わせたような面白い授業をとることができた。なお1コマは休み込みで4時間である。昼休みの時間もありはするが短いため、2コマ授業があるときは何か弁当を持参するかカフェテリアで学食を購入して、それらを教室に持って行って食べる等をするとい。(たまたま授業中なのにナイフフォークを使ってしっかりと学食を食べている生徒を見かけることがあるかもしれない。少なくともSDUでは普通のこのための心配しないでよい。)

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	Cross Cultural Management	単位数 (現地単位数)	5ECTS
科目概要	この授業は、例えば多国籍企業であったり、国際的な職場においてどのように人とコミュニケーションをとるべきかなどを学ぶような授業であった。例えばカルチャーはどのように定義して測るべきなのか、例えばフラットな構造とヒエラルキー構造の社会を比較した時にどのように働き方が違い、その違った構造間の企業同士でコミュニケーションの取り方はどのようにすべきなのか、等々を学びつつ豊富なディスカッションの中で現地生徒と留学生どちらの意見から解決策を考えていくような授業であった。		
科目名②	Project Management	単位数 (現地単位数)	5
科目概要	この授業では、まず5〜7人程度の中規模グループを編成し、架空のプロジェクトを立案するところから始まる。担当の割り振り、予算の管理、素材などの調達方法、納期までのスケジュールとプロセス、品質の保証方法といった要素について、授業内で学んだ理論や図表を用いて分析を行い、最終的に1つのプロジェクトレポートとしてまとめ上げることが主な目的である。グループの動かし方に関しても理論的に学ぶと同時に、課題自体がグループワークであるため、実際に他者と協力して進める際に生じる葛藤や困難をリアルに体験できる構成となっており、実践性に富んだ興味深い授業内容となっていた。		
科目名③	English Language Course	単位数 (現地単位数)	5
科目概要	この授業は留学生に向けて開講されており、様々な技術的なトピックで他生徒と議論を行ったり、その内容をパワーポイントにまとめて発表したりする中で実践的なコミュニケーション能力を鍛えていくような授業であった。		
科目名④	Intellectual Property Rights	単位数 (現地単位数)	5
科目概要	この授業では、EUやアメリカなどの視点から見た知的財産権の法制度の概要的な特徴から、特許や商標権の検索方法、出願プロセス、そしてエンジニアとして特許をいかに戦略的に取得・活用していくかといった実践的な内容を幅広く学んだ。授業内ではペアで取り組むレポート課題が複数回あり、最終課題では、自分自身が知的財産のアドバイザーであると想定し、特定の企業に対してどのような戦略的助言が可能かを提案するレポートを作成した。また、アドバイザーとしての実務経験のあるゲストスピーカーやスタートアップ企業からのゲストスピーカー等が多く招かれており、理論と現場の知見も学ぶことができる、非常に面白い授業だった。		
科目名⑤	International Business Law	単位数 (現地単位数)	5
科目概要	この授業では、例えば契約書の基本的な構成や記載方法、大陸法と英米法の間におけるビジネス慣行や法的解釈の違いなどについて学んだ。特に、国際的な取引において訴訟を提起する可能性を考慮し、契約書に裁判管轄や準拠法をどのように定めるべきか、また、それらを明示しなかった場合に生じる法的リスクについても扱った。 異なる法体系を持つ国々との間でビジネスを展開する際に必要となる法的知識と契約実務に焦点を当てた、実践的な内容の授業であった。		
科目名⑥	Innovation and Optimization in Supply Chain	単位数 (現地単位数)	5
科目概要	この授業では、サプライチェーンの文脈において自然発生的なイノベーションをいかに自発的に創出し、それを促進する環境をどのように構築するかを中心に学んだ。前半は2コマ分の長めのセッションで構成され、トヨタ生産方式やLEANなど、サプライチェーンにおける代表的な理論を学びつつ、シミュレーションゲームを通じて理解を深めた。後半では、イノベーションを促すための理論的アプローチと、それを支える組織環境のあり方について議論を重ねながら、学びを深めた。		

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

SDUにはESN(Erasmus Student Network)という団体があり、インターナショナル向けのイベントを積極的に企画・運営しています。もし友達を作りたいと思っているのであれば、たとえ気が進まなくても、自分に合っていないと感じても、あるいは疲れていても、これらのイベントには可能な限りすべて参加することを強く勧めたいです。顔を覚えてもらえさえすれば、そこから先は割と簡単に人間関係が広がっていくでしょう。

また、セメスター開始時などに大学から案内が来る音楽イベントのボランティアなどにも積極的に関わることをお勧めします。こちらはシャイで友達になるのが難しいと言われているデンマーク人の学生とも関われる絶好の機会です。ぜひ、日本に帰国した後も連絡を取り合えるような友達を一人でも多く作ってください。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

過去の自分を含め、多くの人が不安に感じるのは「英語をうまく話せるかどうか」という点だと思います。しかし、実際に留学を経験して強く感じたのは、「恐れずに発言するメンタル」が何よりも重要だということです。

インターナショナルの学生が多く在籍しており、当然ながら英語の上手い人もいればそうでない人もいます。ただ、実感としては、自分よりもはるかに高い英語力を持っている学生の方が圧倒的に多かったです。また、少なくともデンマーク人で英語でのコミュニケーションに苦労している人は見たことがないです。

だが、ここで重要なのは、そうした現実には気圧されて会話の中で萎縮してしまわないことです。英語が流暢でないことは、いずれ相手にも伝わってしまいます。であれば、最初から自信なさげな態度を取ってしまうと、不要なマイナススタートを切ることになるでしょう。

なので、たとえ相手の言っていることが完全にはわからなくても、自分の言いたいことがうまく表現できなくても、堂々とした態度で、自分の持てる範囲の英語を使って積極的にコミュニケーションを取る姿勢が大切です。わからない単語や表現があれば、臆せず「それはどういう意味？」と聞いてみてもいいです。

とにかく恐れずに、会話をしたり議論に参加したりしてみてください。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
手続き関係はすべて時間がかかります。手順通りやっていたら返信が全然なくても大体裏ではうまく進んでいるため心配する必要はないです。ただ少しでも心配なことがあるのであればとりあえずメールを送っておく、とりあえず電話を入れておくなどをすると思います。
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)
基本は上記したと同じです。ビザ申請も時間がかかるためどんなに早く申請等を終わらせても渡航時期にビザが手元にないということも十分あり得ます。その時はあまり心配しないで、ビザの受け取りだけを現地で行うか、もしくは日本にいる家族に郵送されてきたビザをデンマークに送ってもらうなどをすると思います。
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)
シェアハウス
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)
出願時に協定校に依頼した。期間中に依頼することができれば全員必ず何かしらのアコモデーションを得ることができる。
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？
交通手段や所要時間を教えてください。
まず1時間30分ほどコペンハーゲン空港からオーデンセへ電車で向かい、その後鍵のピックアップが必要であったためホテルで一泊後、SDUのアコモデーションオフィスまで徒歩で一時間ほど移動(トラムがあるのでその方が良い)した後ホテルに戻りスーツケースをもって30分ほど歩きでシェアハウスへと向かった。
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。
トラム使用で20分弱、自転車で10分弱
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。
24平米もあったため部屋はとても広く、おおきな丸テーブルが一つあったためハウスメイトや友達を呼んでディナーパーティーができた。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥0	
往復航空券代(往復)	¥300,000	
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥100,000	
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥80,000	
計	¥480,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥73,000	
食費/月	¥100,000	
その他/月	¥50,000	
計	¥223,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥120,000	
計	¥120,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

大学のメインの入口あたりの景色。
SDUは階数は少ないですが、非常に横に広いキャンパスになっているので、授業教室ごとに自転車を止める位置を調整することをお勧めします。

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

宿泊先の入居初日の様子

その他、任意の写真



説明文

ハウスメイトや友達を呼んでお好み焼きを振舞いました

その他、任意の写真



説明文

クリスマスツリーのライトアップ！

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。